

タウンミーティング記録 未来へつなごうふじみ野市

日 時 令和5年6月8日(木)午後7時～8時30分
場 所 鶴ヶ岡会館（鶴ヶ岡二丁目町内会）
参加者 19人



主な意見等

参加者 コロナ禍の子どもの状況、不登校、心の障がいについてはどう考えられていますか。行事がなくなり経験がないまま約4割の子どもが不安障がい等を抱えているといわれています。不登校の子どもも1クラスに2、3人いる状況です。

私は子どもへのサポートをする制度設計がされていないと思います。カウンセラーやスクールソーシャルワーカー等すべて保護者が動かないと機能しない上に、医療機関への斡旋もしてくれませんでした。私の子どもの場合は専門家を自分でつなげて通信制の学校に入れました。

市で制度設計し連携するようにはしてほしいと思います。健全に育成できるように市でも教育委員会と協力しサポートしてください。

市長 実体験をお話いただきありがとうございます。

確かにコロナ以前より不安障がいを抱えている子どもが増えていることは把握しています。

ご存知だとは思いますが、市内の学校の先生は、市の予算ではなく、県の財源、権限で対応しています。市でも独自にサポーターをつけてはいますが、保護者だけが動いて、全てやらなければならないということはあるべきではなく、市で人材をつなぐ必要があると思います。教育委員会だけでなく、子育て支援課、保健センター等と横断的に連携できるような組織を作らなくてはならないと考えています。制度改革に向けてできることはやっていきたいと思っています。

昨日、全国市長会の総会があり、会長が子どもたちへの支援について岸田総理大臣に要望を提出しました。我々のような自治体だけでは限界があります。費用の面だけでなく制度設計をしていくうえでも国に法律を変えてもらったりすることも必要だと思います。

コロナ禍という今まで想像もしなかった状況ではありますが、そんな環境下に置かれた子どもたち、高齢者の方たちに何とかするのが行政であり国ですので、形にできるように頑張りたいと思います。

参加者 さかい鍼灸院の交差点は通学路になっているのですが、その周辺に戸建てが増えて見通しが悪くなってきています。

子ども達が遊んでいるときなど怖いと感じることもあります。南から北に向かう場合は、家があって特に見通しが悪いと思います。

今のところ事故は起きていませんが、自転車も一時停止せずに止まれの標識も無視している光景を見かけます。子どもの絵が描かれた飛び出し注意の看板等を設置できないでしょうか。

市長 看板を設置することで逆に見通しが悪くなる場合もあります。その交差点より手前に「学童注意」や「飛び出し注意」の啓発看板を付けることはできないかなどを確認してみます

参加者 平成31年のタウンミーティングの際、市長に道路標識が薄くなっているという話をしたところ、翌年に直してもらったことがあります。

市長 市内各所で通行量などにより路面標示が薄くなっている場所がありますが、極力ご要望に沿った形を取りたいと考えています。

参加者 引っ越してこられた方からごみ集積所の場所を聞かれることがありますが、市ではどのように案内しているのでしょうか。

市長 新たに5軒以上開発された戸建て住宅や集合住宅の場合は、新規に設置された集積所を使用していただきますが、5軒未満の場合などは市から集積所の指定はしておらず、近隣の集積所をお使いの住人の方にお声がけし許可を得たうえで使用してほしいと案内しています。

地域によっては持ち回りでやっているところもあります。

参加者 収集業者は集積所の場所が変わっても収集してくれるのでしょうか。

市 長 場所を変更する際に、申請が必要となりますが、場所が変わっても収集は行います。

参加者 町会の夏祭りで仮設の電気工事や舞台工事で20万円以上の費用が掛かっています。市からの補助金は1事業で4万円しかできません。

市 長 加入促進の補助金が4万円、コロナからの事業再開の補助金が4万円あり、最大で12万円の市の補助金が活用できますので、それも使っていたらと思います。

参加者 地域の行事に協力してくれる人も少なくなっています。鶴ヶ丘二丁目は住宅がどんどん建っています。子どもたちも増え、若い人が増えているはずなのに町会に入ってきません。どのようにつなぐか考えていますが難しいと感じています。行事を通してきっかけづくりをしたいと思いますが、どうしていいかわからず、役員会でもいい案ができません。

他でうまくやっている例があれば教えて欲しいです。

市 長 上野台団地は団地の高層化により戸建てが増えました。新たな戸建て住宅には若い人が増え、自ら自治組織を作ろうと言って上野台二・三丁目自治会ができました。その町会はできる人ができる範囲でできることをやろうというスローガンで始まっています。

また、最近の傾向として高齢になって迷惑をかけたくないからやめるという人も増えたようです。役員を飛ばして回すなどその地域で工夫してやっている自治組織もあります。

参加者 会長から自治組織加入の案内のチラシを配るよう頼まれたことがありますが、けんもほろろに断られた経験があります。

市 長 市でもできることできないことがあります。地域の皆さんが行なうことをサポートするのも市の仕事だと考えています。

参加者 先ほど市長の説明で、文化施設の改修をしていると聞きましたが、体育館の改修についてはどうなっていますか。大井総合体育館は、入口はきれいになりましたが空調がないままです。

富士見市、三芳町の体育館は、きれいになり空調も整備されています。

市 長 駒林体育館については、改修計画があります。

大井総合体育館も億単位の予算をかけて改修を行いましたが、限られた財源の中で、学校の教室、避難所となる学校体育館などを優先したため、エアコンの設置には至っていません。今後順次そういった課題にも取り組んでいきたいと考えています。